

第 56 回技能五輪全国大会開催計画

平成 30 年 5 月 9 日

大会会長

中央職業能力開発協会会長 釜 和明

沖縄県知事 翁長 雄志

1 目的

第 56 回技能五輪全国大会（以下「全国大会」という。）は、国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供することなどを通じて、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする。

2 主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会（以下「中央協会」という。）及び沖縄県

3 共催

那覇市、宜野湾市、浦添市、沖縄市、豊見城市、うるま市

4 後援（依頼予定）

文部科学省、経済産業省、国土交通省、都道府県（沖縄県を除く）、都道府県職業能力開発協会、NHK、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、一般社団法人全国技能士会連合会、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、株式会社日刊工業新聞社、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本産業訓練協会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会、公益社団法人全国工業高等学校長協会

5 協賛

全国大会の実施に当たり、企業等に対し競技用材料、役務等に関する各種協賛を依頼する予定。

6 協力

全国大会の実施に携わる運営委員、競技委員等の大会役員について、後援組織、業界団体、企業等に対し当該大会役員への就任に係わる協力を依頼する予定。

7 日程

平成 30 年 11 月 2 日（金）～11 月 5 日（月）

（一部職種については、競技を先行して実施する予定。）

11 月 2 日（金） 競技会場下見等

開会式

- 11月3日(土) 職種別競技実施
 11月4日(日) 職種別競技実施
 採点及び技術委員会
 11月5日(月) 成績発表(閉会式会場)
 閉会式

8 競技職種

次の42職種について実施を予定。

- | | | | |
|-------------------------|---------------------|--------------|--------------|
| [1] 機械組立て | [2] 抜き型 | [3] 精密機器組立て | [4] メカトロニクス |
| [5] 機械製図 | [6] 旋盤 | [7] フライス盤 | [8] 構造物鉄工 |
| [9] 電気溶接 | [10] 木型 | [11] タイル張り | [12] 自動車板金 |
| [13] 曲げ板金 | [14] 配管 | [15] 電子機器組立て | [16] 電工 |
| [17] 工場電気設備 | [18] 石工 | [19] 左官 | [20] 家具 |
| [21] 建具 | [22] 建築大工 | [23] 貴金属装身具 | [24] フラワー装飾 |
| [25] 美容 | [26] 理容 | [27] 洋裁 | [28] 洋菓子製造 |
| [29] 自動車工 | [30] 西洋料理 | [31] 造園 | [32] 和裁 |
| [33] 日本料理 | [34] レストラン
サービス | [35] 車体塗装 | [36] 冷凍空調技術 |
| [37] ITネットワーク
システム管理 | [38] 情報ネットワー
ク施工 | [39] ウェブデザイン | [40] とび |
| [41] 時計修理 | [42] 移動式ロボット | | |

なお、上記の職種のうち、[6]「旋盤」職種、[7]「フライス盤」職種、[13]「曲げ板金」職種、[32]「和裁」職種、[33]「日本料理」職種、[40]「とび」職種、[41]「時計修理」職種を除く35職種については、2019年8月にロシア連邦・カザンで開催される第45回技能五輪国際大会(以下「国際大会」という。)において競技の実施が見込まれる関連職種の競技選手選考を兼ねるものとする。

9 競技会場(予定)[注1、注2]

- ・那覇市民体育館
- ・沖縄調理師専門学校
- ・専門学校大育
- ・奥武山(おうのやま)公園
- ・沖縄コンベンションセンター
- ・宜野湾海浜公園
- ・琉球調理師専修学校
- ・浦添運動公園
- ・浦添ふ頭南緑地
- ・沖縄県総合運動公園
- ・沖縄市立総合運動場

- ・豊見城市民体育館
- ・OTM 車両整備センター豊崎工場
- ・うるま地区内賃貸工場
- ・日立オートモティブシステムズ株式会社技術技能教育センター

[注 1] 参加選手数の増減等の理由により変更となる場合がある。

[注 2] 各競技会場の所在地及び実施する競技職種は、別紙のとおり（予定）。

10 大会参加資格（共通）

全国大会への参加資格は、次に掲げる要件をすべて満たす者に与えるものとする。ただし、「11 大会参加資格（個別）」に定める一部の競技職種については、当該規定に定める要件も併せて満たすことを要する。

- (1) 過去の技能五輪国際大会において、同一職種の競技に参加したことのない者であること。
- (2) 平成 7 [1995] 年 1 月 1 日以降に生まれた者であること。ただし、「メカトロニクス」職種、「和裁」職種及び「情報ネットワーク施工」職種の 3 職種については、平成 6 [1994] 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までに生まれた者の参加を妨げない。
- (3) 「11 大会参加資格（個別）」に定める一部の競技職種を除き、原則として、次に掲げるア又はイのいずれかに該当する者であって、都道府県職業能力開発協会（以下「都道府県協会」という。）会長又は業界団体等から中央協会会長に推薦された者であり、かつ全国大会に出場するに相応しい技能を有していると認められる者であること。

ア 予選会が実施される競技職種にあつては、当該予選会において優秀な成績を収めた者

イ 予選会が実施されない競技職種にあつては、近年の技能五輪全国大会の競技課題について、指定された時間内に製作することができると認められる者

11 大会参加資格（個別）

次に掲げる競技職種は、「10 大会参加資格（共通）」(1) 及び (2) に規定する要件に加え、それぞれの競技職種ごとの要件をすべて満たすことを要する。ただし、「(6) 「ウェブデザイン」職種」については、ア又はイのいずれかを満たすことで足りる。

- (1) 「メカトロニクス」職種、「自動車工」職種及び「移動式ロボット」職種

学生、訓練生等は、第 13 回若年者ものづくり競技大会（以下「若年大会」という。）^[注 1]に出場し、特に優秀な成績を収めた者であること。
- (2) 「旋盤」職種

ア 技能検定「機械加工職種（普通旋盤作業）」2 級以上の実技の技能を有している者であり、かつ都道府県協会会長から中央協会会長に推薦された者であること。

イ 全国大会 2 次予選会^[注 2]において、特に優秀な成績を収めた者であること。
- (3) 「電子機器組立て」職種

ア 技能検定「電子機器組立て職種（電子機器組立て作業）」の 2 級以上の実技の技能を有している者であり、かつ都道府県協会会長から中央協会会長に推薦された者であること。

イ 全国大会 2 次選考会^[注 3]において、特に優秀な成績を収めた者であること。

(4) 「ITネットワークシステム管理」職種

学生、訓練生等は、若年大会と同時期に実施される選考会において、特に優秀な成績を収めた者であること。

(5) 「情報ネットワーク施工」職種

職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）第47条第1項に規定する指定試験機関（以下「指定試験機関」という。）から中央協会会長に推薦された者であり、かつ全国大会に出場するに相応しい技能を有していると認められる者であること。

(6) 「ウェブデザイン」職種

ア 若年大会に出場し、特に優秀な成績を収めた者であること。

イ 若年大会に出場していない者であって、指定試験機関から中央協会会長に推薦された者であり、全国大会に出場するに相応しい技能を有していると認められる者であること。

[注1] 若年大会について

- ・平成30年8月に実施予定。
- ・同大会の開催計画、募集要項等は、別途定める。
- ・同大会は、大会開催年度に原則として20歳以下である者（平成10[1998]年4月2日以降に生まれた者）を対象とした大会であるが、「メカトロニクス」職種、「自動車整備」職種、「ウェブデザイン」職種及び「ロボットソフト組込み」職種の4職種に関しては、全国大会の選考会を兼ねることとしているため、全国大会に参加を希望する者（企業等に就業していない学生、訓練生に限る。）については、20歳を超える場合であっても、同大会の当該職種競技に参加できるものとする。ただし、この場合にあつては、同大会の表彰対象外とする。

[注2] 全国大会2次予選会（旋盤）について

- ・平成30年7月下旬に実施予定。
- ・同予選会の募集要項等は別途定める。

[注3] 全国大会2次選考会（電子機器組立て）について

- ・平成30年8月下旬に実施予定。
- ・同選考会の募集要項等は別途定める。
- ・第55回技能五輪全国大会の「電子機器組立て」職種において、競技課題Ⅰを完了した者は、同予選会への参加を免除する。

12 参加選手数等

- (1) 各競技職種における競技実施に必要な選手の数、参加申請〆切時点において、原則として7人（競技職種によっては7チーム）以上とする。
- (2) 全国大会への参加選手数については、競技用設備、競技会場等を勘案し、参加選手数に上限を設けることとし、参加希望者数がこの上限を超えた場合は、中央協会において参加選手数を調整することとする。

13 全国大会への選手参加形式

- (1) 都道府県協会は、全国大会に出場する選手を取りまとめ、選手団を編成する。

- (2) 業界団体等都道府県協会以外から推薦された選手については、別途、中央協会から都道府県協会に対して当該選手の選手団への加入を依頼する。

14 参加費等

競技職種ごとに定めた選手一人当たりの参加費等を中央協会において徴収する。

15 表彰

成績優秀な者及び選手団に対して、次のとおり表彰を行う。

- (1) 各競技職種の第1位から第3位までの者及び第3位に準ずる成績を収めた者に対して、主催者賞（賞状及びメダル）を授与する。
- なお、必要に応じて、技術委員賞として、特別賞を設けることができる。
- (2) 各競技職種の第1位の者に対して、厚生労働大臣賞（楯）を授与する。
- (3) 最も優秀な成績を収めた都道府県選手団に対して、厚生労働大臣賞（賞状及び楯）を授与する。
- (4) 優秀な成績を収めた都道府県選手団に対して、厚生労働省人材開発統括官賞（賞状及び楯）を授与する。
- (5) (4)に次ぐ上位の成績を収めた都道府県選手団に対し、中央協会会長賞（賞状及び楯）及び全国技能士会連合会長賞（賞状及び楯）を授与する。

16 その他

- (1) 国際大会における CNC 旋盤職種及び CNC フライス盤職種については、第 55 回技能五輪全国大会の旋盤職種及びフライス盤職種における成績優秀者による選考会を実施する。
- (2) 国際大会への派遣は、全国大会及び 16(1)の選考会の成績を基に、次に掲げる国籍、年齢等の国際大会規約に定められた条件のすべてを満たす者に限ることとする。
- ・日本国籍を有する者
 - ・平成9[1997]年1月1日以降に生まれた者（「情報ネットワーク施工」職種、「メカトロニクス」職種については、平成6年[1994]年1月1日以降に生まれた者）
 - ・過去に国際大会に出場したことがない者
- (3) 競技課題（公表分に限る。）、競技職種別参加選手等については、中央協会ホームページ（<http://www.javada.or.jp/>）に順次掲載予定である。

—以上—

競技職種		競技会場
15	電子機器組立て	那覇市民体育館 那覇市字識名1227
17	工場電気設備	
37	ITネットワークシステム管理	
39	ウェブデザイン	
30	西洋料理	沖縄調理師専門学校 那覇市久米1-18-7
33	日本料理	専門学校大育 那覇市大道88-5
41	時計修理	奥武山(おうのやま)公園 那覇市奥武山町51-2
4	メカトロニクス	沖縄コンベンションセンター 宜野湾市真志喜 4-3-1
27	洋裁	
32	和裁	
5	機械製図	宜野湾海浜公園 宜野湾市真志喜4-2-1
10	木型	
28	洋菓子製造	琉球調理師専修学校 浦添市宮城5-2-3
11	タイル張り	浦添運動公園 浦添市仲間1-13
19	左官	
20	家具	
21	建具	
22	建築大工	
31	造園	
18	石工	浦添ふ頭南緑地 浦添市西洲1-3
23	貴金属装身具	
24	フラワー装飾	
25	美容	
26	理容	
34	レストランサービス	
40	とび	沖縄県総合運動公園 沖縄市比屋根5-3-1
12	自動車板金	
13	曲げ板金	
14	配管	
16	電工	
29	自動車工	
36	冷凍空調技術	沖縄市立総合運動場 沖縄市諸見里 2-1-1
1	機械組立て	
38	情報ネットワーク施工	
42	移動式ロボット	豊見城市民体育館 豊見城市字豊崎5-2
35	車体塗装	
2	抜き型	OTM車両整備センター豊崎工場 豊見城市字豊崎3-58
6	旋盤	
7	フライス盤	
8	構造物鉄工	
9	電気溶接	
3	精密機器組立て	日立オートモティブシステムズ株式会社技術技能教育センター 茨城県ひたちなか市東石川3085-5
42職種		15会場